

平成 18 年 3 月 15 日

各 位

会 社 名 サイバネットシステム株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 井 上 恵 久
(東証第一部 コード番号：4 3 1 2)
問 い 合 わ せ 先 広 報 室 勝 又 一 徳
電 話 番 号 0 3 - 5 9 7 8 - 5 4 0 4

ANSYS最新バージョン10.0日本語版国内出荷開始のお知らせ

～ANSYS Workbench 環境の充実や、CFX と ANSYS による連成解析機能の強化など～

サイバネットシステム株式会社（東証第一部、本社：東京、資本金：9 億 9500 万円、代表取締役社長：井上恵久、以下“サイバネット”）は、米国 ANSYS 社（米国 NASDAQ 市場上場 ANSS、本社：米国ペンシルベニア州キャノンスバーグ市、社長兼最高経営責任者：ジェームス・イー・キャッシュマン、以下“アンシス社”）が開発・販売・サポートする汎用有限要素法解析ツール ANSYS の最新バージョン 10.0(日本語版)の国内出荷を 3 月 1 日より開始したことをお知らせいたします。

ANSYS10.0 は、統合製品開発プラットフォームである Workbench（ワークベンチ）インターフェイス機能のさらなる充実により、過渡熱解析機能をサポートすることとなりました。また、各種解析作業を支援する材料データベースの機能向上や、モデル作成・修正ツール DesignModeler（デザイン・モデラー）や最適化ツール Design Explorer（デザイン・エクスプローラー）の機能向上などが挙げられます。また、従来の ANSYS 操作環境で、ANSYS と CFX（シーエフエックス）を使用した流体-構造連成解析が双方向で実現可能となったことや、ANSYS の分散処理システムで対応する解析の幅が広がりました。さらに、ANSYS、ANSYS Workbench 両方の環境で、EM64T の Windows XP 64bit の対応を開始しました。

====ANSYS Workbench インターフェイスにおける機能強化====

■ OneSpace Designer Modeling インターフェイス

コクリエイト社 3 次元 CAD” OneSpace Designer Modeling” 用のインターフェイスが新たに追加されました。同 3 次元 CAD のメニュー上に ANSYS のアイコンが表示され、作成した 3 次元モデルを直接使って解析することが可能です。

■ 過渡熱解析

Workbench 環境で使用できる熱解析機能に、過渡熱解析機能が追加されました。過渡熱解析では、時間によって刻々と変化する構造内部の温度分布を計算することができるため、より現実的な現象を求めることができます。また、過渡熱解析により計算された温度分布を用いた構造解析との連成問題も可能であるため、電子部品に代表されるような熱変形を伴う様々な現象を求めることができます。

■ エンジニアリングデータ（材料力学データ）の機能向上

温度に依存した様々な物性データ、方向により物性データが異なる異方性材料データ、ゴム材料にて使用する超弾性材料データの入力が可能となりました。さらに、超弾性材料データは、ゴム材料の試験結果から適切な材料定数を導き出すことができるカーブフィッティング機能も追加されました。

■ モデル作成・修正ツール DesignModeler（デザイン・モデラー）機能の向上

一様な厚さを持つ薄板モデルにおいて、中立面の抽出機能が利用できるようになりました。もし、中立面を作成することにより隙間が生じた場合には、自動的にその隙間を埋めることができます。また、2分の1、4分の1など対称モデルの作成についても使いやすい機能が追加されています。

■ 最適化ツール Design Xplorer（デザイン・エクスプローラ）の機能向上

新たな最適化アルゴリズムとして NLPQL（エヌエルピーキューエル）が追加されました。NLPQL は単目的最適化専用のアルゴリズムで他の手法に比べ精度が高く、高速に最適値を求めることができます。また、温度、材料、荷重が一定である線形伝熱解析でも使用できるようになりました。設定できるパラメータとしては、形状寸法、熱伝導率、表面熱流束、表面熱伝達の熱伝達係数と雰囲気温度、温度および熱流束があります。

=====（従来の）ANSYS インターフェイスにおける機能強化=====

■ 構造解析

<要素>

ソリッドシェル要素に積層機能が追加されました。積層情報には、各層毎の材料情報はもちろんのこと、板厚方向の積分点数も定義できるため、曲げ変形による解析精度を今まで以上に向上させることができます。さらに、粘着要素の追加により、剥離現象や亀裂進展、そして複数部品間の接着状態を容易にモデリングすることができるようになりました。

<接触>

3次元ビーム要素間の接触をモデル化できるようになりました。接触箇所は、ビーム断面の外表面同士だけでなく、管の内面と他ビームの外表面の接触にも対応しています。これにより、ハイドロゲンセンサー、送水管、原子力発電所のパイピング、織物、テニスラケットのガットなどの接触挙動を効率良く計算することができるようになりました。

- ・ HP PA8000(64bit) HP-UX 11.0
 - ・ SUN UltraSPARC(64 bit) Solaris 8
- <ANSYS 環境利用の場合>
- ・ Intel IA32
 - Windows XP Professional (日本語版対応)
 - Windows XP Home Edition (日本語版対応)
 - Windows 2000 (日本語版対応)
 - Linux RedHat AS 2.1 Kernel 2.4.9
 - ・ Intel IA64
 - Windows XP 64-bit Edition Version 2003
 - Linux RedHat AS 2.1 kernel 2.4.18
 - HP-UX 11.22
 - ・ Intel Xeon EM64T
 - Linux RedHat AS3.0 kernel 2.4.21
 - ・ HP AlphaServer
 - Tru64 V5.1
 - ・ HP PA8000(64bit) HP-UX 11.0
 - ・ IBM AIX64(64 bit) AIX 5.1 Update 7
 - ・ SGI(64bit) IRIX 6.5.23m
 - ・ SUN UltraSPARC(64 bit) Solaris 8
 - ・ SUN UltraSPARCIII(64 bit) Solaris 8
 - ・ SUN UltraSPARCIV(64 bit) Solaris 8
 - ・ Fujitsu SPARC64 IV Solaris 8
 - ・ AMD Opteron 64-bit SuSE SLES 9 Kernel 2.6.5

価格

別途お問い合わせ下さい。

なお、教育機関向け製品は別途特別価格をご用意しております。

米国アンシス社について

米国アンシス社は、1970年に Swanson Analysis Systems 社として設立され、航空宇宙、自動車、機械、電機、電子、医療工学など幅広い産業の製品開発に携わるエンジニアや設計者のためのシミュレーションソフトウェアを開発、全世界へと提供してまいりました。そして、設計の初期段階から試作実験と最終評価までの段階において、高速かつ効果的な製品開発を行えるように、オープンで柔軟性の高いソリューションを開発し続けています。

ANSYS 社に関する詳細は、下記 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ansys.com>

サイバネットシステム株式会社について

当社は、科学技術計算分野、特に CAE 関連の多岐にわたる先端的なソフトウェアソリューションサービス提供を行っており、電気機器、輸送用機器、機械、精密機器、教育・研究機関など様々な業種および適用分野に対してソフトウェア、教育サービス、技術サポート、コンサルティング等を提供しております。取扱い製品は、構造解析、伝熱解析、電磁場解析、熱流体解析、音響解析、機構解析、制御系解析、通信システム解析、信号処理、光学設計、照明解析、高周波回路解析、MEMS 設計解析など多様かつ世界的レベルの CAE ソフトウェアであり、様々な顧客ニーズに対応しております。

サイバネットシステム株式会社に関する詳細は、下記 Web サイトをご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp>

註 CAE : Computer Aided Engineering

コンピュータによる工学的数値解析・シミュレーション

CAD : Computer Aided Design

コンピュータによる設計支援

この件に関するお問い合わせ
サイバネットシステム株式会社

●内容についての問い合わせ

メカニカル CAE 事業部ビジネスデベロップメント部

担当/近藤 晶子

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6 ニッセイ音羽ビル

TEL. 03-5978-5451 FAX. 03-5978-5960

E-MAIL: anssales@cybernet.co.jp

●報道の方は

広報室/勝又、松代

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6 ニッセイ音羽ビル

TEL. 03-5978-5404 FAX. 03-5978-5441

E-MAIL: irquery@cybernet.co.jp